



# 学校通信

平成31年度 第1号  
平成31年 4月 8日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部 良美



## 「よいところみつけ名人になろう」2年目

校長 岡部 良美

咲き誇る開三小に育つ19本の桜の木の花が、新年度のスタートにふさわしいさわやかさを演出しています。4月5日(金)に新六年生が登校し、子供たちのリーダーとしての自覚をもって新年度の出発の準備を行いました。頼もしい六年生が模範となり、開三小の伝統を繋ぎ、よさを創り出していくことへの期待をもちました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。練馬区立開進第三小学校の平成31年度、開校87周年の教育活動が始まりました。一年生118名、二年生114名、三年生126名、四年生103名、五年生107名、そして六年生は103名の全児童671名でスタートをいたしました。すべての学年の子供たちが元気に登校し、学校に活気がみなぎる春がやってきました。

昨年度、保護者や地域の皆様にご協力いただき、教育目標の見直しを進めてきました。現在とは大きく変化すると予想される2030年代の社会において子供たちが活躍する上で必要な資質や能力を小学校段階で育てることを目指す教育目標です。そして今年度より、『学びを深める子供』、『思いやりのある子供』、『健康な子供』を開三小の教育目標といたしました。開三小職員一同、全力を尽くしてまいります。今年度より練馬区教育委員会研究指定校となり、社会に開かれた教育課程の実現を目指して、生活科と総合的な学習の時間を核として、教師の指導力・授業力の向上を図ってまいります。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち、保護者・地域の皆様との連携・共有の下、実践的研究を進めていきます。

4月8日の始業式・入学式の日、私は子供たちに、「開三小の1年間のめあては、『よいところみつけ名人になろう』です。この意味は、自分のよいところも、友達のよいところも見付ける名人のことです。一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してくれたところなどを見付けましょう。」と伝えました。このめあては2年目になりますが、『自分のよいところが分かる』、『友達によいところを認めてもらう』ことは、子供一人ひとりの自信に繋がります。それに伴って、友達など他を受け止め、受け入れる、対話・協力する行動にも繋がると考えます。お互いのよさが分かっている、自分のことが分かってもらえると思えば、安心して学校生活が送れます。学校生活の中で友達と仲良くすることはもちろん、学習においても間違えることを恥ずかしがらず、一生懸命考え判断し表現するなど、個性と能力を發揮できる、挑戦できる環境になると確信しています。

『昔蒔く木の実、大木となりにつけり。いま蒔く木の実、のちの大木ぞ。』、これは二宮尊徳の言葉です。いま蒔く木の実を子供たちにたとえます。子供一人ひとりが、誇りと自信をもち、主体的・対話的に行動し、これからの社会の創り手となること。このことを目指して、開三小の教育を進めてまいります。